



平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年6月6日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
 コード番号 9692 URL http://www.cec-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 富士夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 筒井 伸二 TEL 046-252-4111
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績（平成26年2月1日～平成26年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	10,469	△1.8	765	37.5	767	33.9	354	56.3
26年1月期第1四半期	10,658	8.8	556	42.2	573	29.7	226	△42.6

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 391百万円 (11.0%) 26年1月期第1四半期 353百万円 (△13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	20.34	20.28
26年1月期第1四半期	13.01	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第1四半期	33,522	21,177	61.6	1,183.61
26年1月期	32,967	20,955	62.0	1,172.83

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 20,646百万円 26年1月期 20,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	-	10.00	-	10.00	20.00
27年1月期	-	-	-	-	-
27年1月期(予想)	-	10.00	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年1月期の連結業績予想（平成26年2月1日～平成27年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	0.4	1,200	34.0	1,100	25.6	650	41.3	37.28
通期	42,000	2.6	2,150	9.9	2,000	3.6	1,150	2.6	65.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年1月期1Q	18,800,000株	26年1月期	18,800,000株
② 期末自己株式数	27年1月期1Q	1,356,202株	26年1月期	1,370,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年1月期1Q	17,432,923株	26年1月期1Q	17,429,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年2月1日～平成26年4月30日)におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要とその反動懸念がありました。政府の積極的な経済政策・金融緩和の継続により企業収益・雇用情勢に改善がみられ、総じて回復基調で推移いたしました。

情報サービス産業においては、景気回復を背景に企業のIT投資マインドが改善に向かっております。とりわけ、市場の関心は、ビッグデータ活用やモバイル端末の業務活用など、売上拡大や競争優位性の確保につながる経営戦略面の課題に対して高まっております。

当社グループにおきましては、こうした市場ニーズに応えるべく、自社独自の製品・サービス創出による事業領域の拡大、アライアンス推進による営業力・市場競争力の強化、各事業セグメント間の連携強化によるシナジー効果の最大化に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、前期のハードウェア切替需要に伴う大口仕入販売の反動減等により、売上高は104億6千9百万円、前年同期比1億8千8百万円(1.8%)の減となったものの、付加価値の高い自社開発製品の販売ならびに生産性向上等の収益改善活動を推し進めたことで粗利率が改善し、営業利益は7億6千5百万円、前年同期比2億8百万円(37.5%)の増、経常利益は7億6千7百万円、前年同期比1億9千4百万円(33.9%)の増、四半期純利益は3億5千4百万円、前年同期比1億2千7百万円(56.3%)の増となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（品質検証サービス）

品質検証サービス分野におきましては、前期に引き続き、国内スマートフォンメーカーの事業縮小による携帯デバイス検証分野の商談減少で、売上高は8億3千7百万円、前年同期比1億5千9百万円(16.0%)の減となりましたが、新規検証サービスとして注力している情報システム・医療機器・スマートグリッドの分野において着実に商談が増加し、売上減少幅の縮小に寄与しました。利益面につきましては、テスト自動化による生産効率の向上に努めたことなどで、営業利益は1億2千4百万円、前年同期比2千8百万円の増となりました。

（IT基盤サービス）

IT基盤サービス分野におきましては、インフラ構築サービスが堅調に推移したものの、データセンターサービスにおけるアウトソーシング契約満了および前期のスポット受注案件の反動減等により、売上高は26億7千万円、前年同期比1億1千万円(4.0%)の減となりました。利益面につきましては、運用ガイドライン導入による作業標準化および経費削減に努めたことで、営業利益は3億8千5百万円、前年同期比1百万円の減と、影響を最小限に抑えることができました。

（ビジネス支援サービス）

ビジネス支援サービス分野におきましては、ドキュメントソリューション「SmartSESAME® SecurePrint！」(スマートセサミ セキュアプリント)シリーズなど、自社開発製品の販促活動に注力いたしました。業績面につきましては、前期のハードウェアの切替需要に伴う大口仕入販売の反動減により、売上高は14億4千6百万円、前年同期比1千7百万円(1.2%)の減となったものの、上記自社開発製品の販売が好調に推移したことなどにより、営業利益は1億1千8百万円、前年同期比1億円の増となりました。

（システム構築サービス）

システム構築サービス分野におきましては、プロジェクト監視強化の徹底による品質向上と不採算案件防止に努めるとともに、ニアショアなど開発分業化推進による高生産性の実現に取り組んでまいりました。業績面につきましては、既存顧客との取引拡大および新規顧客の獲得により、売上高は55億1千4百万円、前年同期比9千9百万円(1.8%)の増、営業利益は9億8千3百万円、前年同期比1億9千2百万円の増となりました。

（2）財政状態に関する説明

（総資産）

総資産の残高は335億2千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億5千4百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が4億8千4百万円増加、仕掛品が1億円増加したことなどによるものです。

（負債）

負債の残高は123億4千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億3千2百万円の増加となりました。これは、賞与引当金が4億2千4百万円増加、未払法人税等が1億円減少したことなどによるものです。

（純資産）

純資産の残高は211億7千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億2千2百万円の増加となりました。これは、四半期純利益を3億5千4百万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が2千3百万円増加、剰余金の配当により1億7千4百万円減少したことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の連結業績予想につきましては、平成26年3月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,865,896	4,350,812
受取手形及び売掛金	8,120,189	8,098,982
有価証券	685,030	609,180
商品	103,130	66,651
仕掛品	481,722	582,438
その他	1,006,734	1,252,960
貸倒引当金	△24,913	△22,727
流動資産合計	14,237,790	14,938,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,325,035	8,226,254
土地	2,512,896	2,512,896
リース資産（純額）	3,880,960	3,805,922
その他（純額）	1,002,960	1,038,220
有形固定資産合計	15,721,853	15,583,293
無形固定資産		
のれん	12,806	10,588
その他	423,556	381,113
無形固定資産合計	436,363	391,702
投資その他の資産		
その他	2,588,242	2,623,734
貸倒引当金	△16,359	△14,655
投資その他の資産合計	2,571,882	2,609,078
固定資産合計	18,730,099	18,584,074
資産合計	32,967,890	33,522,372

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,358,644	1,705,510
短期借入金	367,500	367,500
未払法人税等	530,669	430,005
賞与引当金	404,877	829,193
受注損失引当金	10,620	3,109
その他	2,319,723	2,143,475
流動負債合計	4,992,034	5,478,794
固定負債		
長期借入金	136,200	136,200
長期末払金	536,734	529,554
リース債務	3,633,067	3,550,285
繰延税金負債	278,232	295,554
退職給付引当金	1,330,939	1,244,928
役員退職慰労引当金	6,592	5,536
資産除去債務	1,098,456	1,103,708
固定負債合計	7,020,222	6,865,767
負債合計	12,012,257	12,344,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,415,030	6,415,030
利益剰余金	9,088,140	9,257,239
自己株式	△1,748,969	△1,730,467
株主資本合計	20,340,200	20,527,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,020	97,324
為替換算調整勘定	27,400	21,488
その他の包括利益累計額合計	101,420	118,812
新株予約権	21,138	20,847
少数株主持分	492,872	510,349
純資産合計	20,955,632	21,177,811
負債純資産合計	32,967,890	33,522,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	10,658,200	10,469,249
売上原価	8,614,589	8,225,425
売上総利益	2,043,611	2,243,824
販売費及び一般管理費	1,487,053	1,478,663
営業利益	556,558	765,160
営業外収益		
受取利息	261	555
有価証券評価益	46,150	24,150
その他	41,197	30,074
営業外収益合計	87,609	54,780
営業外費用		
支払利息	64,427	51,184
その他	6,140	932
営業外費用合計	70,567	52,116
経常利益	573,600	767,824
特別損失		
固定資産売却損	—	211
固定資産除却損	1,554	6,388
厚生年金基金脱退損失	—	5,649
特別損失合計	1,554	12,249
税金等調整前四半期純利益	572,045	755,575
法人税、住民税及び事業税	328,915	400,450
法人税等調整額	△12,761	△19,869
法人税等合計	316,153	380,581
少数株主損益調整前四半期純利益	255,892	374,994
少数株主利益	29,095	20,452
四半期純利益	226,796	354,542

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	255,892	374,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,231	23,187
為替換算調整勘定	7,874	△4,676
持分法適用会社に対する持分相当額	4,157	△1,568
その他の包括利益合計	97,263	16,941
四半期包括利益	353,155	391,935
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,173	371,933
少数株主に係る四半期包括利益	29,981	20,002

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計
	品質検証 サービス	IT基盤 サービス	ビジネス 支援サービス	システム 構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	997,628	2,781,658	1,464,259	5,414,654	10,658,200	—	10,658,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,454	23,968	48,037	33,425	111,885	△111,885	—
計	1,004,082	2,805,626	1,512,296	5,448,080	10,770,086	△111,885	10,658,200
セグメント利益	95,886	387,629	18,004	790,701	1,292,221	△735,663	556,558

(注) 1 セグメント利益の調整額△735,663千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計
	品質検証 サービス	IT基盤 サービス	ビジネス 支援サービス	システム 構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	837,838	2,670,756	1,446,287	5,514,367	10,469,249	—	10,469,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	94,116	40,625	46,490	181,232	△181,232	—
計	837,838	2,764,872	1,486,913	5,560,858	10,650,481	△181,232	10,469,249
セグメント利益	124,236	385,906	118,686	983,662	1,612,491	△847,331	765,160

(注) 1 セグメント利益の調整額△847,331千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。